

巻頭言

渋谷キャンパスで新たな歴史を刻む



人間社会学部長 広井 多鶴子

人間社会学部は、学生一人ひとりの主体的な学びを大切にする「学びの共同体」をモットーに、2004年に人間社会学科1学科で発足し（定員140名）、昨年（2013年）10周年を迎えました。その間、2010年には大学院人間社会研究科が開設。翌2011年には現代社会学科が設置され、2学科体制になりました（定員200名）。こうしてこの10年の間に7回の卒業式を挙行し、合計約1200名の卒業生を社会に送り出してきました。

人間社会学部の歩みは、実践女子学園の115年の歴史からすれば、まだまだ小さな一歩ですが、こうして無事10周年を迎えることができたことを、これまで実践女子学園と人間社会学部を支えてくださってきたみなさまとともに、お祝いしたいと思います。ご父母や卒業生のみなさま、それから企業や地域のみなさまのお力添えに、人間社会学部の教職員一同、心より感謝申し上げます。

さて、この10周年記念式典を昨年ではなく、11年目にあたる今年2014年に開催することにしたのは、何よりも渋谷の新しいキャンパスをこれまでお世話になった方々にご披露したいと考えたからです。そして、人間社会学部の卒業生のみなさんに、渋谷キャンパスをぜひ自分たちの「母校」として認めていただきたいと願うからでもあります。人間社会学部はこの渋谷キャンパスで、これまでの10年の蓄積の上に、新たな歴史を刻みはじめます。10周年記念式典は、そうした新たな出発を記念する式典でもあります。

では、人間社会学部は今後どんな方向に進もうとしているのか。人間社会学部のこれからについて、ここで少しだけお話ししたいと思います。

人間社会学部のキャッチフレーズは、「人を知り、社会を知り、ビジネスを学ぶ」です。この言葉には、「人間」と「社会」に関する多角的・総合的な知識・理解と、「ビジネス」に関する知識・スキルをもった女性を育成するという人間社会学部の教育

理念が込められています。そして、そうした女性を育成することによって、女性の社会進出を支援し促進することが、人間社会学部に課せられた社会的な使命です。人間社会学部は今後もこうした理念を堅持しながら、渋谷キャンパスにふさわしく、バージョンアップをはかっていきたいと考えています。

そのために、人間社会学部では昨年から今年にかけてカリキュラム改革に取り組んできました。その大きなポイントは、違いが分かりにくいと言われてきた人間社会学科と現代社会学科の特徴を明確にすることです。その結果、2015年から実施する新カリキュラムでは、人間社会学科は、心理学と社会学を基礎科目として、人間と社会とビジネスについて多角的・総合的な知識と教養を持った人材を育成する学科、現代社会学科は、経済学・経営学・法律学を基礎科目として、社会やビジネスに関する知識と実務能力を持った人材を育成する学科へとリニューアルします。そして、このように学科の特性を明確にすることによって、これまで以上に系統的・段階的に専門性を深めることができるようにします。

また、アクティブ・ラーニングを大幅に導入することも今回のカリキュラム改革の大きなポイントです。人間社会学部のカリキュラムは、1年から4年まで演習が必修になっているなど、従来から学生の主体的な学びを重視してきました。しかし、その多くはキャンパス内での学修であり、学外の人をお招きしたり、学生が街や地域に出て行って学んだりする機会はかなり限られていました。

それに対し新しいカリキュラムでは、ディスカッションやグループワーク、実習・調査などを行なうアクティブ科目を増やすとともに、学生が学外の方々と一緒にワークショップを開いたり、渋谷の街にフィールドワークに出かけたりする機会を積極的に設けます。最先端の情報や流行が飛び交う渋谷という街をフィールドにして、アクティブ・ラーニングを積み重ねることによって、自ら課題を見出し、情報を分析し、積極的に行動し、実践する力を持った女性を育成することができると思います。

人間社会学部のカリキュラムは、2004年の学部開設時を最初のバージョンとすれば、第2バージョンは、2011年の現代社会学科開設のためのカリキュラム改革であり、今回のカリキュラム改革は、新たな渋谷キャンパス時代を切り拓くための第3バージョンになります。考えてみれば、人間社会学部は、学部発足以来のモットーや理念を大切にしながらも、この10年の間に大きく変化してきました。おそらく人間社会学部は今後もバージョンアップを繰り返しながら、新しい時代、新しい社会にふさわしく変化していくことと思います。

人間社会学部の学生、卒業生、ご父母のみなさま、そして、人間社会学部を支えてきてくださっているすべての方々、どうかこれからも人間社会学部を見守り、ご支援助ください。